

平成31年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年4月12日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 木島 修

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成31年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第3四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成31年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第3四半期	25,209	1.4	332	28.1	337	23.0	219	60.2
30年5月期第3四半期	25,577	4.6	462	106.0	438	345.5	551	

(注) 包括利益 31年5月期第3四半期 206百万円 (64.1%) 30年5月期第3四半期 576百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第3四半期	16.61	16.61
30年5月期第3四半期	68.29	59.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第3四半期	27,154	8,752	32.2
30年5月期	26,283	8,689	32.9

(参考) 自己資本 31年5月期第3四半期 8,730百万円 30年5月期 8,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期		0.00		14.00	14.00
31年5月期		0.00			
31年5月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,261	3.1	389	4.7	314	7.4	32	85.8	11.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年5月期3Q	7,832,800 株	30年5月期	7,805,500 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年5月期3Q	301 株	30年5月期	1 株
----------	-------	--------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

31年5月期3Q	7,818,229 株	30年5月期3Q	7,747,004 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	—	—	35,287.67	35,287.67
31年5月期	—	—	—		
31年5月期 (予想)				80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間（平成30年6月1日～平成31年2月28日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や国内災害の影響が収束したことなどにより、緩やかな回復基調で推移しているものの、一方で日本経済とつながりのある大国間の貿易摩擦問題や、海外経済の不確実性などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、業種業態を超えた競争の激化が進む中、消費者マインドの低下傾向や、人件費や物流費の上昇により厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待を超えるべく、店舗ごとで独創的な空間を創出することを目的として、「商品を発掘する楽しさ」だけではなく、「ドキドキ・ワクワクする体験」を提供すべく事業活動を行ってまいりました。店舗運営においてはコンテンツやイベントと連携しリアルでしか体験できない独創的な空間を創出してまいりました。また店舗運営のサポートといたしましては販売費及び一般管理費の削減、商品供給体制の強化、また既存商品のWEB販売など継続的に取り組んでまいりました。

店舗数につきましては、直営店2店を新規出店し、直営店8店を閉鎖したことにより、当社グループの第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店342店、FC店6店の合計348店となりました。

このような事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、25,209百万円と前年同四半期と比べ368百万円の減収（1.4%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んでまいりましたが、9,455百万円と前年同四半期と比べ441百万円減益（4.5%減）となりました。営業利益は332百万円と前年同四半期と比べ130百万円減益（28.2%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円と前年同四半期と比べ332百万円の減益（60.2%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア（CD・DVD類）、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、24,629百万円と前年同四半期と比べ398百万円の減収（1.6%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、9,207百万円と469百万円減益（4.9%減）となりました。販売費及び一般管理費の削減並びに効率化に取り組んでおりますが、営業利益は328百万円と前年同四半期と比べ184百万円の減益（36.0%減）となりました。店舗数につきましては直営店2店を新規出店し、直営店8店を閉鎖したことにより、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店342店、FC店6店の合計348店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、個人クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。

また、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、平成28年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても平成29年6月末をもって店舗を閉鎖いたしております。会社清算へ向けた手続きを順次進めていく予定であります。

株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社2社の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は658百万円と前年同四半期と比べ36百万円の増収（5.8%増）となりました。営業利益は0百万円（前年同四半期は51百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、23,450百万円となりました。これは、現金及び預金が817百万円、商品が338百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、3,704百万円となりました。これは、建物及び構築物が66百万円、差入保証金が6百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、27,154百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し、9,948百万円となりました。これは、未払金が184百万円減少いたしましたが、買掛金が464百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、8,453百万円となりました。これは、長期借入金が69百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、18,402百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、8,752百万円となりました。これは、資本金が14百万円、資本剰余金が14百万円、利益剰余金が57百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ817百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には5,576百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は523百万円（前年同四半期は229百万円の収入）となりました。

これは、主に仕入債務の増加額463百万円および売上債権の減少額159百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は131百万円（前年同四半期は436百万円の収入）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出30百万円および無形固定資産の取得による支出80百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は425百万円（前年同四半期は1,812百万円の収入）となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出2,882百万円があったものの、長期借入れによる収入3,050百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月13日発表の「平成30年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,759	5,576
売掛金	1,293	1,135
商品	16,141	16,480
その他	323	261
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	22,515	23,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,477	1,411
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	176	148
建設仮勘定	94	101
有形固定資産合計	1,749	1,661
無形固定資産		
ソフトウェア	191	382
ソフトウェア仮勘定	209	48
その他	1	1
無形固定資産合計	402	432
投資その他の資産		
長期前払費用	86	85
差入保証金	1,528	1,522
その他	1	1
投資その他の資産合計	1,617	1,609
固定資産合計	3,768	3,704
資産合計	26,283	27,154

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,055	4,519
短期借入金	—	500
1年内償還予定の社債	—	30
1年内返済予定の長期借入金	3,515	3,613
未払金	601	417
未払法人税等	287	173
未払消費税等	52	67
株主優待引当金	32	48
賞与引当金	52	28
資産除去債務	41	6
その他	580	541
流動負債合計	9,220	9,948
固定負債		
社債	—	105
長期借入金	6,302	6,371
長期末払金	229	164
役員退職慰労引当金	340	349
退職給付に係る負債	252	232
資産除去債務	1,175	1,180
その他	75	51
固定負債合計	8,374	8,453
負債合計	17,594	18,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,301	2,315
資本剰余金	3,778	3,792
利益剰余金	2,559	2,617
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,638	8,724
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18	6
その他の包括利益累計額合計	18	6
新株予約権	31	21
純資産合計	8,689	8,752
負債純資産合計	26,283	27,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
売上高	25,577	25,209
売上原価	15,680	15,754
売上総利益	9,897	9,455
販売費及び一般管理費	9,434	9,122
営業利益	462	332
営業外収益		
仕入割引	28	23
業務受託料	69	77
受取負担金	42	15
その他	55	37
営業外収益合計	196	153
営業外費用		
営業外支払手数料	68	30
支払利息	109	106
その他	42	10
営業外費用合計	220	148
経常利益	438	337
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	5	1
事業分離における移転利益	276	—
債務免除益	46	—
特別利益合計	328	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	19	1
減損損失	19	10
特別損失合計	39	12
税金等調整前四半期純利益	727	328
法人税等	176	108
四半期純利益	551	219
親会社株主に帰属する四半期純利益	551	219

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
四半期純利益	551	219
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△12
退職給付に係る調整額	24	—
その他の包括利益合計	24	△12
四半期包括利益	576	206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	576	206

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	727	328
減価償却費	301	220
事業分離における移転利益	△276	—
減損損失	19	10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△20
支払手数料	68	30
売上債権の増減額(△は増加)	246	159
たな卸資産の増減額(△は増加)	△835	△338
仕入債務の増減額(△は減少)	230	463
その他	△58	△63
小計	420	790
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△109	△109
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△82	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	229	523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61	△30
無形固定資産の取得による支出	△116	△80
差入保証金の差入による支出	△59	△28
差入保証金の回収による収入	71	17
事業分離による収入	647	—
その他	△44	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	436	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	70	500
長期借入れによる収入	3,602	3,050
長期借入金の返済による支出	△3,058	△2,882
社債の発行による収入	—	147
社債の償還による支出	—	△15
割賦債務の返済による支出	△209	△173
配当金の支払額	△107	△161
株式の発行による収入	1,584	—
その他	△68	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,812	425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,477	817
現金及び現金同等物の期首残高	2,728	4,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,205	5,576

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

第2四半期連結会計期間において、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedは清算したため、連結の範囲から除外しております。また、持株会社体制への移行準備の一環として、分割準備会社として当社100%出資の株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション分割準備会社を新たに設立したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成29年6月1日至平成30年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他（注）3	合計	調整額 （注）1	四半期連結財 務諸表計上額 （注）2
	㈱ヴィレッジヴァ ンガードコーポレ ーション				
売上高					
外部顧客への売上高	24,994	582	25,577	—	25,577
セグメント間の内部売上 高又は振替高	33	39	72	△72	—
計	25,028	621	25,649	△72	25,577
セグメント利益又は損失 （△）	512	△51	461	1	462

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利
緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成30年6月1日至平成31年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）3	合計	調整額 （注）1	四半期連結財務諸表計上額 （注）2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	24,582	627	25,209	—	25,209
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	30	78	△78	—
計	24,629	658	25,287	△78	25,209
セグメント利益	328	0	328	3	332

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。なお、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましては、平成30年9月28日に清算終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。